

# 取付説明書

7型 WVGA 2DIN/2DIN WIDE FM/AM CD/DVD Bluetooth® ナビゲーションシステム

## SL3122NV / SL3122NVW / SL3122NV-X

【お客様へのお願い】

- 取付けおよび接続を行う前に、必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しく作業を行ってください。
- 指定外の取付方法や指定以外の部品を使用すると、事故や怪我の原因となります。
- 本機の取付けには、専門技術と経験が必要です。お買い上げの販売店での取付けをお薦めします。
- 安全運転のため、ご使用前に「本書（取付説明書）」と「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。「取扱説明書」については、当社ホームページよりダウンロードしてご覧ください。
- トリチアサポートセンター アドレス <https://www.tricheer.co.jp/support/>

<b>警告</b> 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	<b>注意</b> 人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
<b>!</b> しなければならないことを表しています。	<b>!</b> してはならないことを表しています。
<b>!</b> 注意をしなければならないことを表しています。	

<b>警告</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>本機はDC12V ⊖アース車専用です。</b> 大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車では使用しないでください。火災の原因になります。</li> <li>● <b>取付け作業前に、必ずバッテリーのマイナス端子をはずしてください。</b> ショートによる感電や怪我の原因になります。</li> <li>● <b>ドリル等で穴開け作業をする場合は、ゴーグル等で目を保護してください。</b> 破片が目に入ると怪我や失明の原因になります。</li> <li>● <b>ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用してください。</b> 規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。</li> <li>● <b>万一、異物が入る、水がかかる、煙が出る、変な匂いがする等の異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談してください。</b> そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。</li> <li>● <b>接続した / 使用しないコードの先端など被覆が無い部分は絶縁テープで保護してください。</b> ショートによる火災、感電の原因になります。</li> <li>● <b>コード類は、運転の妨げとならないよう、テープ等でまとめておいてください。</b> ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくると事故の原因となり危険です。</li> <li>● <b>必ず付属の部品を指定通り使用してください。</b> 指定外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、固定不十分で外れると危険です。</li> <li>● <b>取付説明書で指定された通りに接続してください。</b> 正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>本機を次の場所には取付けしないでください。</b> 前方の視界を妨げる場所、ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所。交通事故や怪我の原因となります。</li> <li>● <b>エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に本機の取付けと配線をしてください。</b> エアバッグの誤動作を起こしたり、交通事故の際に正常に動作しないため、怪我の原因になります。</li> <li>● <b>車体のボルト・ナットを使用して本機の取付けやアースを取る場合、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト・ナットは絶対に使用しないでください。</b> 保安部品を使用すると、制動不能や発火、事故の原因となります。</li> </ul>

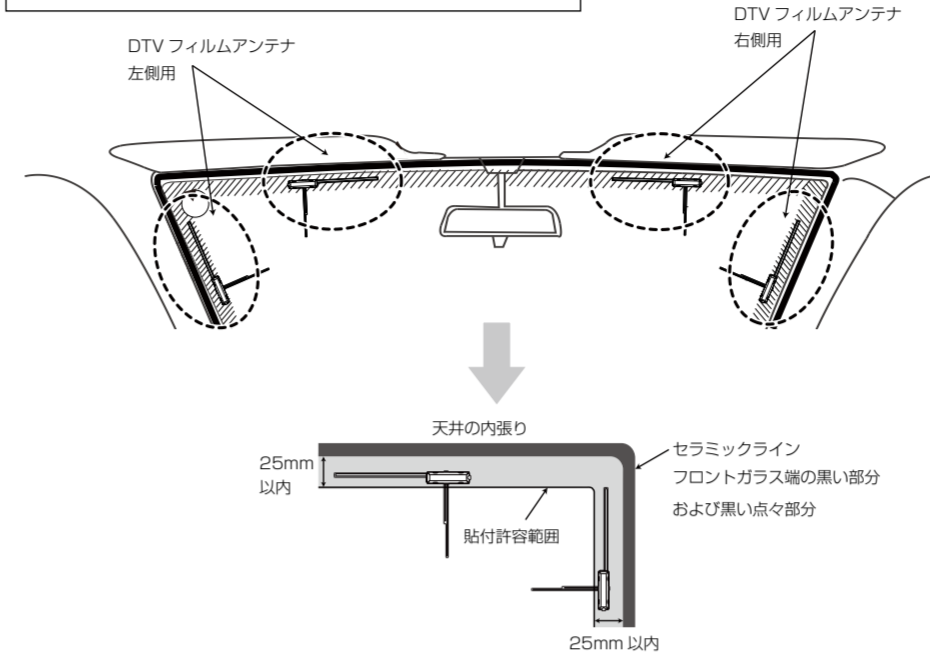
<b>警告</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>本機を分解したり、改造しないでください。</b> 事故、火災、感電の原因となります。</li> <li>● <b>電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にしないでください。</b> 電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。</li> <li>● <b>画面が表示しない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。</b> そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>車体に穴を開けて取り付ける場合は、注意して作業を行ってください。</b> パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認のうえ、干渉や接触がないように注意してください。火災の原因になります。</li> <li>● <b>車体のネジ、シートレール等の可動部にコード類を挟み込まないように配線してください。</b> 断線やショートにより、事故や感電、火災の原因になります。</li> </ul>

<b>注意</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>本機の取付け・配線には専門技術と経験が必要です。</b> 安全のため必ずお買い上げの販売店へ依頼してください。誤った配線をする、車両に重大な支障をきたす場合があります。</li> <li>● <b>コードが金属部分に触れないように配線してください。</b> 金属部に接触し、コードが破損して火災、感電の原因になることがあります。</li> <li>● <b>コードの配線は、高温部を避けてください。</b> コード類が車体高温部に接触すると被膜が溶けてショートし、火災、感電の原因になることがあります。</li> <li>● <b>本機の取付け場所変更時は、安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。</b> 取り外し、取付けには専門技術が必要です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>水がかかる所や湿気、埃、油煙の多い所への取付けは避けてください。</b> 本機に水や湿気、埃、油煙が混入すると、発煙や発火、故障の原因になることがあります。</li> <li>● <b>しっかりと固定できない所や振動の多い所への取付けは避けてください。</b> 本機が外れて運転の妨げになり交通事故や怪我の原因になることがあります。</li> <li>● <b>直射日光やヒーターの熱風が直接当たる所へ取付けしないでください。</b> 金属部分が高温になり、火傷をする可能性があります。また、本機の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。</li> <li>● <b>本機の通風孔や放熱板、ファンをふさがないでください。</b> 内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。</li> <li>● <b>コードを途中で切断しないでください。</b> コード類にはヒューズが付いている場合があり、保護回路が働かず火災の原因になることがあります。</li> <li>● <b>電源用リード線をバッテリーに直接接続しないでください。</b> 機器を動作させるための電流容量が不足して、バッテリーから直接、電源を取る必要がある場合はバッテリー専用配線キットを使用してください。</li> <li>● <b>本機を車載用として以外は使用しないでください。</b> 感電や怪我の原因となることがあります。</li> <li>● <b>本機に、強い力やショックを与えることはしないでください。</b> 火災、故障のおそれがあります。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>コード等の車内への引き込みは、十分注意してください。</b> 雨や水の車内への侵入を防ぐためコード等の車内への引き込みには十分気をつけてください。車内に浸水すると、火災や感電の原因となることがあります。</li> </ul>	

### 3 DTV フィルムアンテナの取付け ※ SL3122NV-X は、この作業は不要です。

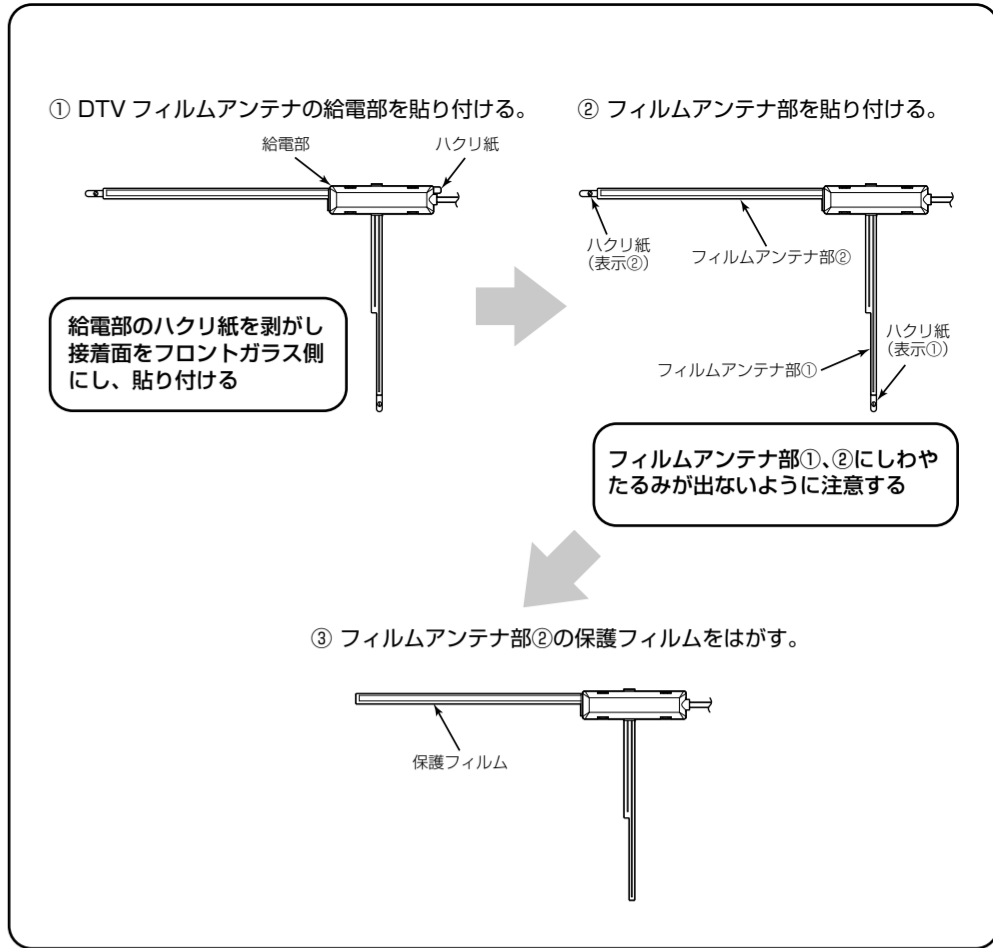
フロントガラスの下図の場所へDTV フィルムアンテナを貼り付けてください。

車室内からフロントガラスを見た図です。



#### 貼り付ける際の注意

- 一度貼り付けると、エレメントの素子破損や粘着力が低下するため、貼り直してできません。DTV フィルムアンテナを貼る前に必ずコード及びDTV フィルムアンテナを仮止めし、コードの引きまわしなどを十分に検討してから貼り付けてください。
- 必ずフロントガラスの指定の位置、寸法内に正しく貼り付けてください。
- フロントガラス（内側）の汚れ（ゴミ、ホコリ、油など）や、くもり止めや水分などをアルコール等できれいにふき取ってください。ガラス面が乾かないうちは貼り付けしないでください。また、市販の界面活性剤入りのクリーナーは使用しないでください。
- DTV フィルムアンテナ、アンプ、ケーブルをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン等の揮発性のもので拭かないでください。
- DTV フィルムアンテナを折り曲げたり、傷を付けたりしないでください。断線等により電波の受信が悪くなる場合があります。
- フロントガラスを拭くなどするときは、強くこすらないでください。また、シールやステッカー剥がし剤を使わないでください。破損の原因となります。
- サイドガラスやリアガラスには貼らないでください。
- DTV フィルムアンテナやハクリ紙などを剥がした面には手で触れないでください。また長時間の放置はしないでください。汚れや汗または静電気による故障や接触不良の原因になります。
- ガラス面が結露したり気温が低いときは貼りつかなくなる場合があります。湿度が高いときはエアコンをオンにして十分に乾かすか、気温が低いときは車内ヒーターやデフロスター、またはドライヤーなどで貼り付け部分を暖めて、結露しないことを確認してから貼り付けてください。
- DTV フィルムアンテナは点検シール、検査標章などに重ねないでください。
- 受信感度低下を防ぐために、他のアンテナやETC 受光部から2センチ以上離して貼り付けてください。
- DTV フィルムアンテナの給電部及びアンプ部は、セラミックライン上または、内張りにならないように、必ず貼付許容範囲内に貼り付けてください。



## 1 構成部品

ナビゲーション本体		AUX 入力ケーブル
SL3122NV/SL3122NV-X <sup>※1</sup>	SL3122NVW <sup>※3</sup>	
電源専用ケーブル	バックカメラケーブル	
汎用電源ケーブル	専用電源ケーブル <sup>※3</sup>	
GPS アンテナ	DTV フィルムアンテナ (4本) <sup>※2</sup>	パーキング・車速パルス・リバース専用ダイレクト接続ケーブル
パーキング・車速パルス・リバース専用汎用接続ケーブル	ハンズフリー用マイク	B-CAS カード <sup>※2</sup>
地図専用 microSD カード (本体に内蔵)	ショートコネクタ (6個)	取付けネジ (8本)

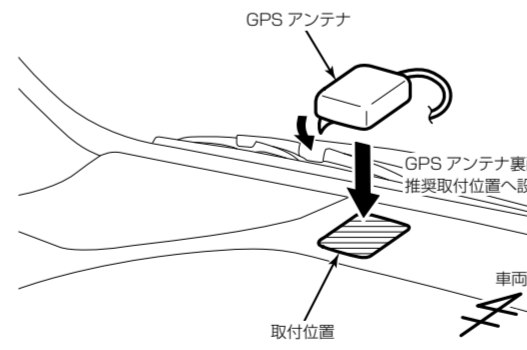
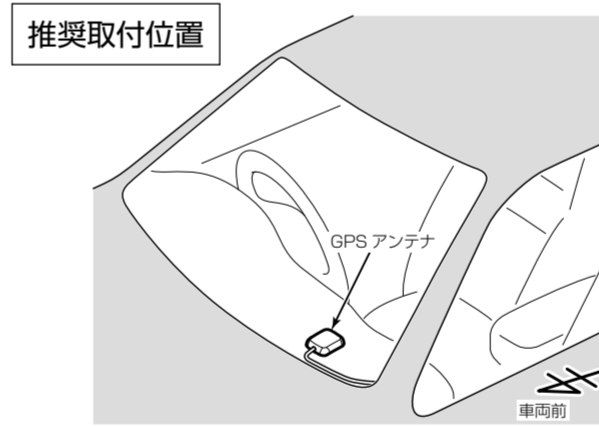
- ※1 SL3122NVW には、同梱されていません。
- ※2 SL3122NV-X には、同梱されていません。
- ※3 SL3122NV/SL3122NV-X には同梱されていません。

## 2 取付け作業の進め方

- (1) 構成部品の確認  
(☞ 1 構成部品 参照)
- (2) バッテリーの ⊖ 端子を外す
- (3) 接続を確認する  
(☞ 7 接続のしかた 参照)
- ※ (4) DTV フィルムアンテナを取り付ける  
※ SL3122NV-X は、この作業は不要です。  
(☞ 3 DTV フィルムアンテナの取付け 参照)
- (5) GPS アンテナを取り付ける  
(☞ 4 GPS アンテナの取付け 参照)
- (6) ハンズフリー用マイクを取り付ける  
(☞ 5 ハンズフリー用マイクの取付け 参照)
- (7) ナビゲーション本体を取り付ける  
(☞ 6 ナビゲーション本体の取付け 参照)
- (8) バッテリーの ⊖ 端子を元に戻す
- (9) 設定および作動確認をする  
(☞ 8 設定および作動の確認、取扱説明書 参照)

取扱説明書については、当社ホームページよりダウンロードしてご覧ください。  
トリチアサポートセンター アドレス <https://www.tricheer.co.jp/support/>

## 4 GPS アンテナの取付け



#### 取り付ける際の注意

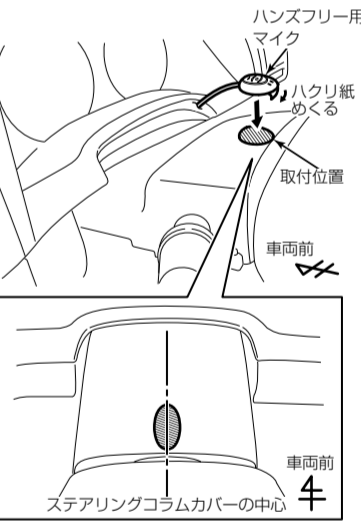
- GPS アンテナは車内専用となります。
- GPS アンテナは車載機器（※1）および各アンテナ類（※2）から50cm以上離して設置してください。車載機器や各アンテナ類の近くに取り付けると、GPS が正常に機能せず、電波を受信しにくくなったり、誤動作を起こす可能性があります。
- ※1 ETC 車載器、ビーコンユニット、カーオーディオ機器、レーダー探知機、ドライブレコーダーなど
- ※2 TV アンテナ、ETC アンテナなど
- 取り付け前に、必ず GPS アンテナ裏面の両面テープを剥がしてください。
- 取り付け面の汚れ、油などをふきとってください。
- アンテナは電波の遮られにくい水平な場所に設置してください。
- アンテナ部からコードを取り外すことはできません。無理に取り外すと動作不良へつながり、再使用もできません。
- 受信状態が良くなる角度に調整してください。
- 一部の車種に採用されている断熱ガラス、熱遮断フィルムには電波を反射させる性質があり、受信感度が極端に低下する場合があります。またお車のフロントガラスにミラータイプ等のフィルムを貼っている場合、受信感度が落ちることがあります。

## 5 ハンズフリー用マイクの取付け

- ① ステアリングコラムカバーの中心にハンズフリー用マイクの取付位置を決めてください。
  - チルト・テレスコピック時、ハンズフリー用マイクが車部品と接触しない位置に取り付けてください。
- ② ハンズフリー用マイクをステアリングコラムカバーの中心に取り付ける。
  - ハンズフリー用マイクを取り付ける際、取付位置表面の汚れ、水分、油分を十分ふき取ってください。
- ③ コードをクランバーで固定しながらナビゲーション取付位置まで配線する。
  - ※ クランバーは付属していません。必要に応じて別途購入してください。

#### 警告

コードは、運転操作を妨げないよう、クランバーで固定してください。ステアリングやシフトレバーなどに巻き付くと事故原因となり危険です。

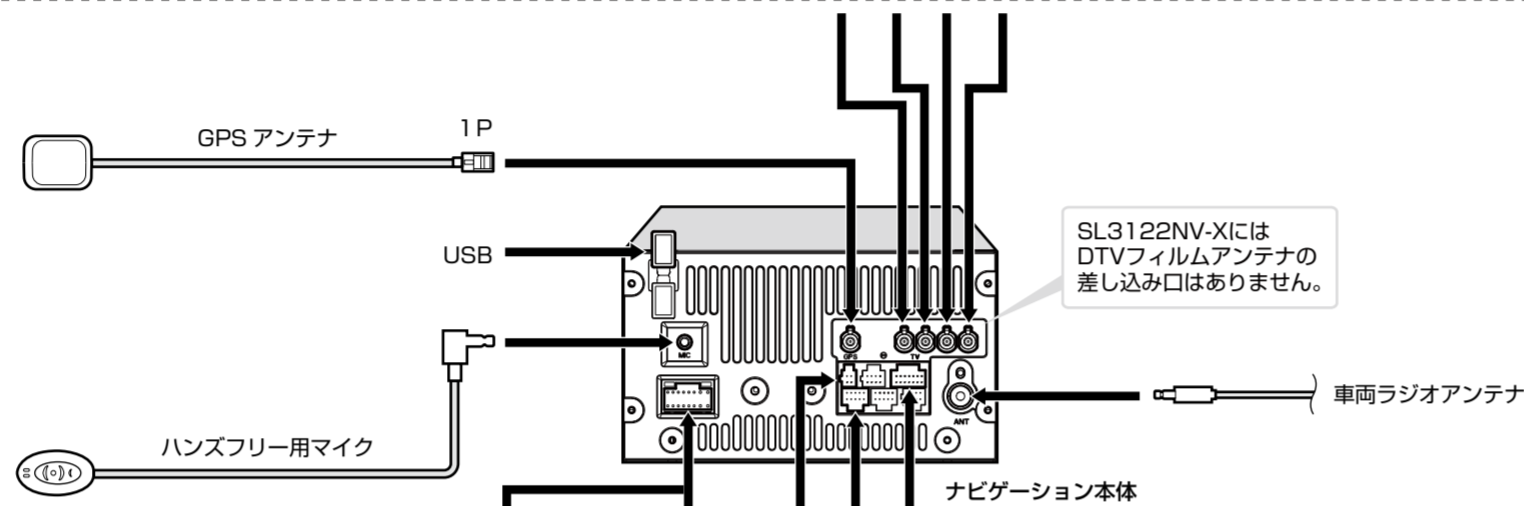
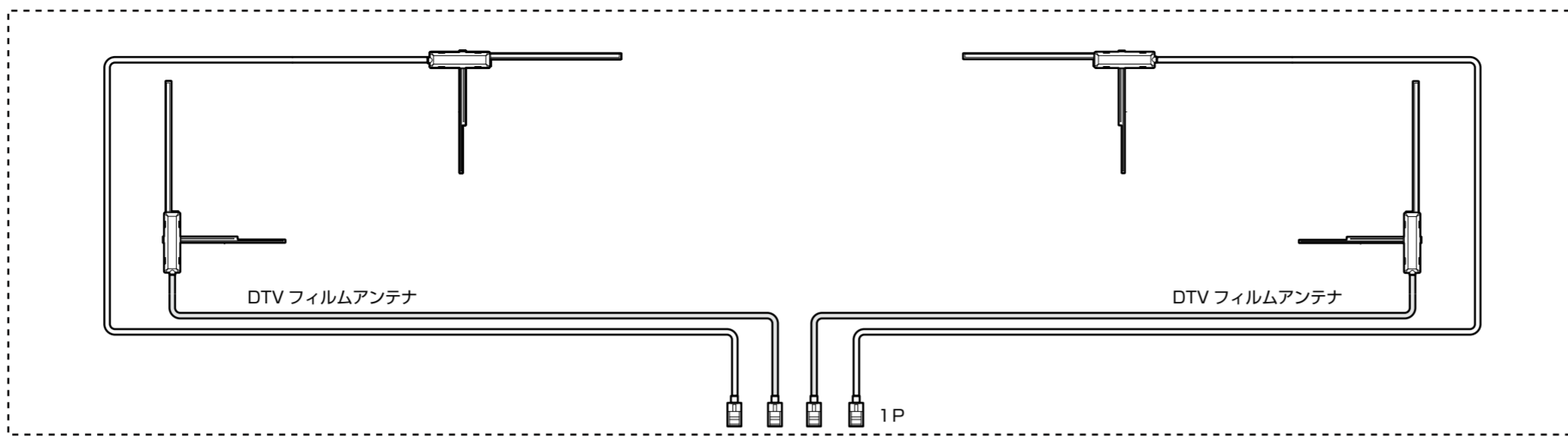


## 6 ナビゲーション本体の取付け

- ① 車両のオーディオ、小物入れ等を取り付けているブラケットを取り外し、本体にこのブラケットを取り付けます。（取付けネジ）
- ② 本体に各コードを接続してから車両に取り付けます。
  - 車両に付属するブラケットのネジ穴に合わせて取付位置を選び、付属の取付けネジで取り付けてください。
  - 車両の元の位置に取り付けてください。
    - ※ フェイスパネル、ブラケットの形状によっては、付属の取付けネジで取り付けられないことがあります。
    - ※ 取り付けは水平に対して、-5度～20度までの角度にて取り付けをお願いします。
  - タッチパネルは傷につきやすいので、ご注意ください。汚れを落とすときは、柔らかい布（シリコンクロスなど）で軽く押さえるようにして拭いてください。汚れがひどいとき、水でうすめた台所用洗剤にひたした布をよく絞って拭きとり、その後乾いた布で拭いてください。
  - 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
  - ベンジンやシンナーなどの揮発性のある薬品やツヤ出し剤は使用しないでください。変質したり、塗装がはげることがあります。

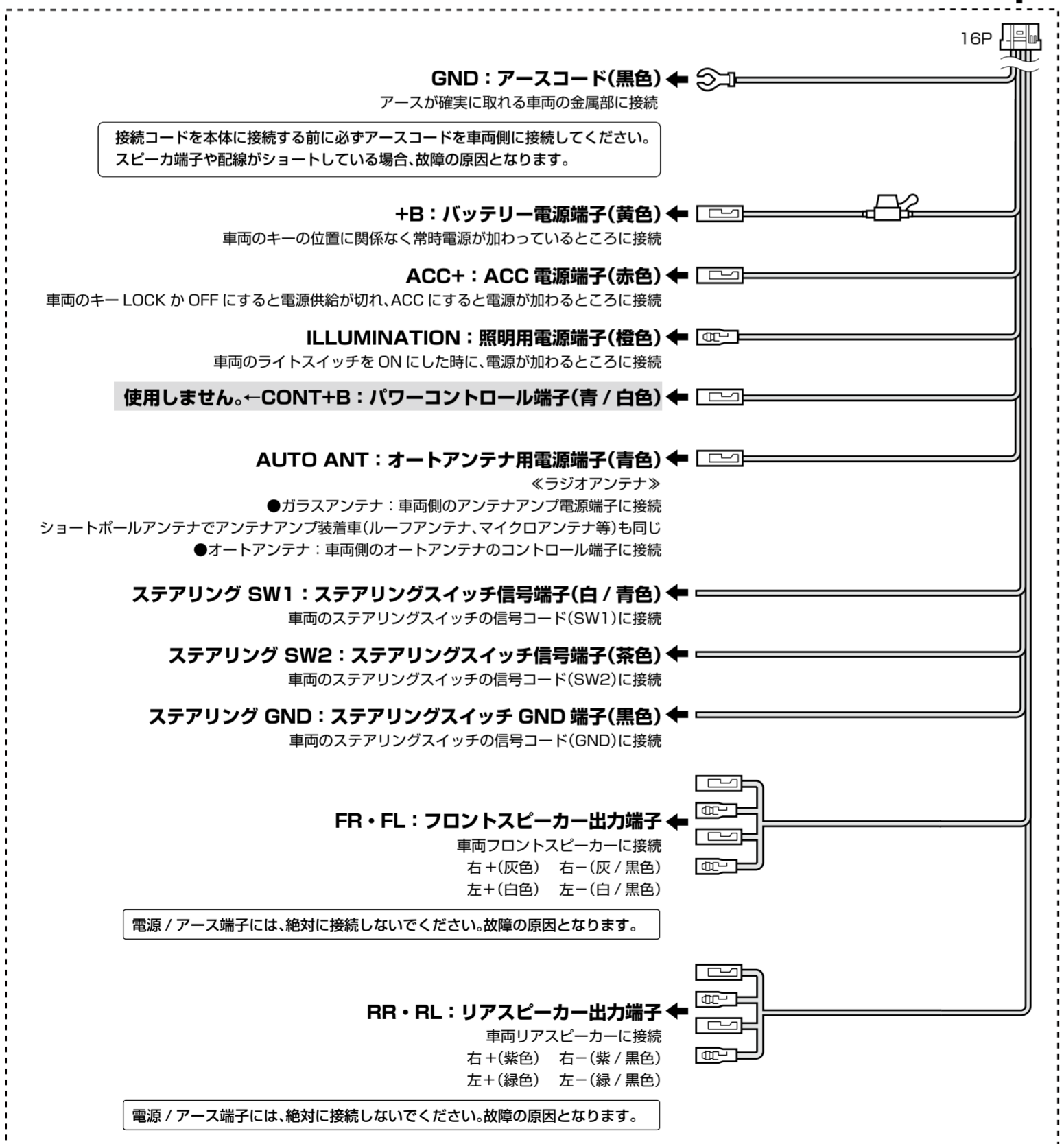
## 7 接続のしかた

### ■ SL3122NV-XにはDTVフィルムアンテナは同梱されていません

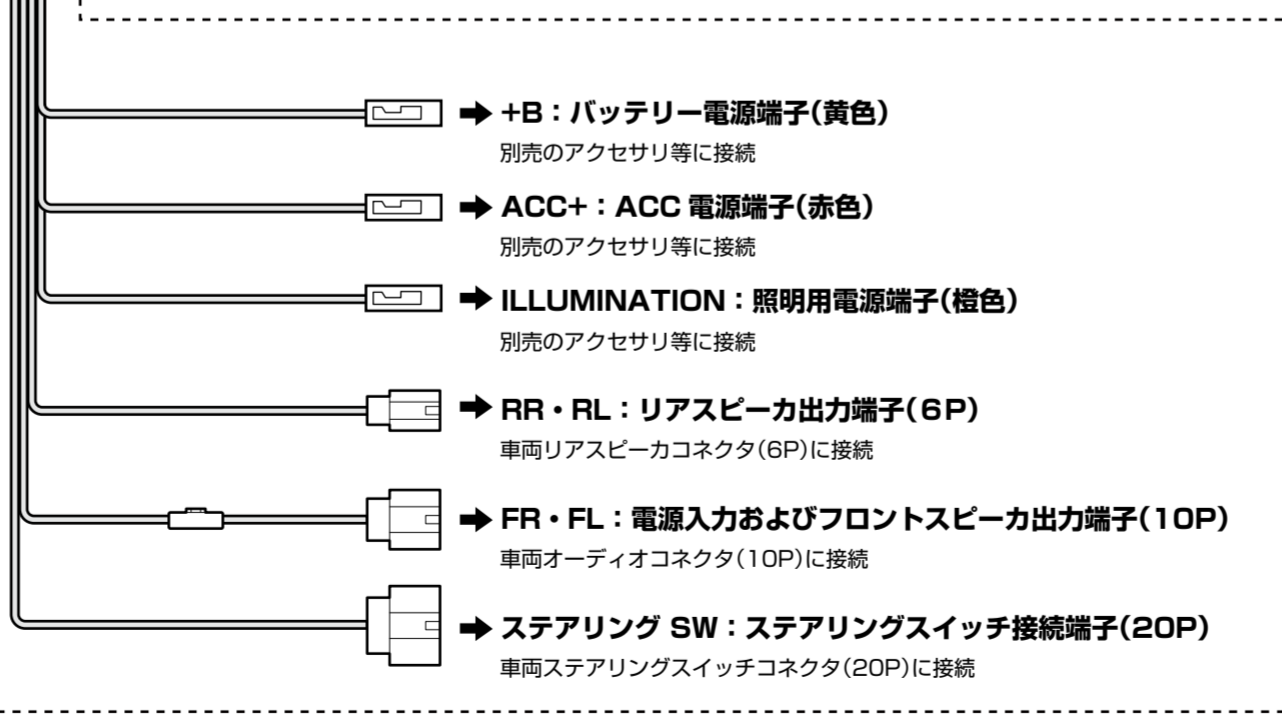


SL3122NV-Xには  
DTVフィルムアンテナの  
差し込み口はありません。

### ■ 汎用電源ケーブルを使用する場合



### ■ 専用電源ケーブルを使用する場合



ステアリングリモコン適合車種情報  
<https://www.tricheer.co.jp/support/>

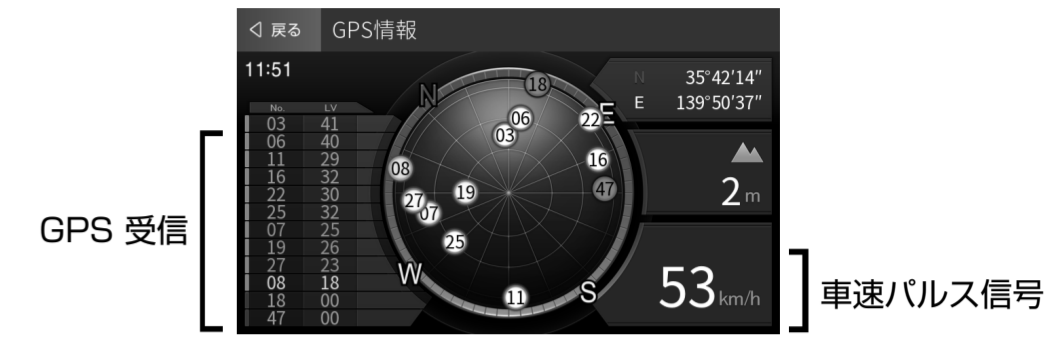
## 8 設定および動作を確認

取扱説明書を参照して、接続確認と基本設定を行ってください。

### (1) 接続確認

⇒ナビ設定メニュー：GPS情報

- ① GPS 受信
- ② 車速パルス信号



※リバース信号は、シフトレバーをバックの位置にして、本機画面がバックカメラ映像に切り替わるか確認して下さい。パーキング信号は、シフトレバーをパーキングの位置にして、目的地を設定できるか確認して下さい。イルミネーション信号は、スモールランプをONにして、本機のイルミネーションが点灯しているか確認して下さい。

### (2) ステアリングスイッチ設定

⇒設定メニュー：システム：ステアリングスイッチ